

業種名		前年同月比				業種名		前年同月比			
		売上受注	取引条件	収益状況	業界の景況			売上受注	取引条件	収益状況	業界の景況
食料品製造業	漬物	↓	↓	↓	↓	卸売業	肥料	↑	→	→	↓
	醤油・味噌	↓	→	→	↓		◎卸団地(津)	→	→	→	→
	豆腐	→	→	↓	↓		◎商業(鳥羽)	↑	→	→	→
	日本酒	→	→	↓	↓		◎青果(松阪)	↓	↓	↓	→
繊維製品製造業	◎組紐(伊賀)	↓	→	↓	↓	小売業	自転車	↓	↓	↓	↓
	衣料縫製	→	→	→	→		家電	↓	↓	↓	↓
	テントシート	↓	→	→	→		石油	↓	→	↓	↓
木材・木製品	→	↓	→	↓	スポーツ用品		↑	→	→	→	
紙・紙加工品	段ボール箱	→	→	→	→	商店街	◎熊野市	→	→	→	↑
	古紙	↓	→	↓	↓		自動車整備	→	→	↓	→
印刷	→	→	→	→	サービス業	◎宿泊施設(鳥羽)	→	↓	→	↓	
窯業・土石製品	生コンクリート	↑	→	→		→	旅行業	↓	→	↓	→
	◎陶磁器Ⅰ(萬古焼)	↓	→	↓		↓	◎飲食業	→	→	→	→
	◎陶磁器Ⅱ(伊賀焼)	→	→	→		→	警備業	→	→	→	→
金属・一般機器・電気機器・輸送機器	鍍金	→	→	→	→	建設業	総合工事業	↑	→	→	→
	◎機械器具(四日市)	→	→	→	→		内装工事業	↑	→	↑	↑
	◎機械器具(久居)	↑	→	↑	↑		電気工事業	→	→	→	→
	◎機械器具(伊勢)	↑	→	↑	↑		◎水道工事業(津)	→	→	→	→
	◎電気機器(鳥羽)	↓	↓	↓	↓	運輸	トラック輸送	↑	→	→	→
	◎輸送機器(鈴鹿)	↓	→	↓	↓		◎不動産(鈴鹿亀山)	→	→	→	→

↑…増加・上昇・好転 →…変わらず ↓…減少・下落・悪化 ◎…地域単位の組合

情報連絡一覧票 (三重県中小企業団体中央会・平成25年5月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	漬物	昨年の白菜漬けを原因とする0-157、ノロウィルスの影響で、浅漬け全体の消費はまだ回復基調ではないと思われる。その他の漬物類については横ばいである。
		豆腐	先月に引き続き、原料高で収益が悪化している。
	木材・木製品	木材	円安の影響で輸入の外材は価格上昇しているが、国産材は横ばい傾向である。7月から受付が開始される予定の「木材利用エコポイント制度」に期待を寄せている。
	紙・紙加工品	紙器段ボール箱	少し中元向け製品が動き始めているが、大きな需要の増加もなく、例年なみの出荷にとどまっている。
		古紙	5月期の仕入高は、前年比で段ボール：約98%±3%、新聞・チラシ：約95%±3%、雑誌・雑紙・その他合わせて：約95%±7%となっている。経団連は30日、大手企業の2013年の夏の賞与・一時金妥結状況(第1回集計)を発表し、回答した64社の組合員平均の妥結額は前年比7.37%増と、華々しくNHKで放送されたが、よく画面を見ると、製紙業界はマイナス5%程の発表がなされていた。他の民放は見る限り製紙業界の状況放映はなかった。大小かかわらず業績の良い会社に海外投資の国策指導は良いと思うが、内需拡大、人口増加、明治維新、戦後復興時の日本ルネサンスの政策牽引や国内在住の中小零細企業に優しい景気上昇の報道を望みたい。
	窯業・土石製品	伊賀焼	今年の5月は新緑伊賀焼陶器市等で入館者数もやや多く、売上状況も昨年と同じく大変良かった。伊賀・信楽古陶館も同じく市内に観光客が多く訪れ、古陶館の売上も良かった。一部の高価な商品が売れた。5月連休には各方面から伊賀に来られたようであった。5月1日～6日までの入館者数は2,800名であった。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は4月と比べ若干減少してきており、特に自動車関連部品は横ばい状態である。その他めっき等は4月同様扱う製品により異なり、明暗を分けている。半導体関連は4月よりも若干ではあるが、増産の方向に転じてきている。6月以降も生産量増と見込まれ、夏場から本格化される見込みである。
	一般機器	四日市	前月とあまり変化は見られないが、このところの株価の変動に加え、円安による輸入材料の値上がりや金利動向、エネルギー問題等、先行きの不透明を懸念する会員も多い。
		津(久居)	業種間のバラツキがあり、好転した企業もあれば、減少している企業もある。
	電気機器	鳥羽	市場はまだまだ吉とせず、厳しい状況が続く。その中で一部の企業による先取り設備投資が始まった。
輸送機器	鈴鹿	昨年のこの時期はエコカー補助金のおかげで活況感があったが、今年はそれも無く、低調である。円安の恩恵も大手メーカーに限ったことであり、我々下請け企業には何も感じられない。これからしばらくはこのままゆるやかな低迷・停滞期に入り、消費税率変更前の駆け込み需要が始まるまでは大きな変動要素はないような気がする。	
非製造業	卸売業	肥料	原料の大半を輸入に頼っている肥料は円安による価格の上昇を6月から実施されるため、販売店が買い急ぐのと、メーカーが出荷を控えるため、思うような荷動きは見られなかった。
	小売業	青果	順調な入荷に市場が活気になるも、品物入荷が多くなり、価格は大きく下落している。地場産と県外産の入荷も多く、今までに経験のない価格の下落となった。一段落すれば夏野菜も順調になると期待する。
		自転車	24年度の国内自転車産業の製造・輸入動向が発表された。①国内生産101万台(対前年比91.7%)②輸入849万9千台(対前年比89.9%)で国内向は約951万台(対前年比90.1%)となり、前年に起きた東日本大震災における特需の反動で前年比約10%減少した。そんな中今の好景気への期待が高まっているものの、自転車産業に好影響を与えるまでにはまだまだ時差がある。円安で輸入品の値段は上がり、自転車を含め部品等の売価を上乗せできないのが現状である。

非製造業	家電	家電業界も景気上向きの傾向は出てこないが、25年5月21日総代会を開催。24年度事業報告と25年度の事業計画で事業の骨子・基本方針・指導及び教育事業・斡旋事業など総合活性化をめざし、積極的に取り組んでいくことを確認した。26年4月消費税増税に向けて駆け込み需要も想定されるので、今年度はお客様総巡回でお客満足度の向上を図り、省エネ家電品の提案をしていく。	
	小売業	石油	5月の石油販売業全体については前年度対比ガソリン数量は3%～4%減販した。中間3品（灯油・軽油・A重油）については前年比2%～4%増販であり、特に灯油の販売が5月初旬まで寒さの影響により好調だったため、燃料全体として減販を幾分か抑えることができたと思う。特に残念なのはガソリン販売価格の低迷により販売業者については燃料油収益の厳しい状況が続いているのが現状である。この石油業界も冬春の季節商品の販売が終わり、今後夏商戦になるが、ガソリン販売及び油外商品販売強化を行ってほしい。
	スポーツ用品	全国高等学校体育大会三重県予選や全国中学校体育大会三重県予選等々の公式試合が毎週のように行われている。その各種大会に出場する選手のユニフォーム・用品の納入・販売がかなり活発に行われているようである。組合員は忙しく動いている。	
商店街	熊野	今年のGWは高速延伸化の影響などもあり、通年に比べ東紀州方面の入り込み客が多かったようだ。また今月末駅前で開催されたイベントでは、隣接した記念通り商店街の「いこらい市」との連携を計った結果多くの来客で賑わった。またスーパー跡地問題については、商工会議所と調整してイベント等を含めた活用法を現在調整中である。早ければ夏までに何かしらの具体的な活用法を決定する予定である。	
サービス業	旅館（鳥羽）	規模の違いにより、大・中旅館は入り込みがあるようである。繁忙期ではないので、単価は下げている。雇用人員が減少しているようで、これから夏にかけて募集しているところも多いようである。	
	飲食業	5月31日より1週間において毎年行われている「世界禁煙デー」では近年、飲食店での分煙がクローズアップされている中、先行して神奈川県、兵庫県等では受動喫煙防止条例が施行されており、今後他県でもその検討も行われているところである。当飲食組合では全国組織と連携を計り分煙対策のステッカーを作成し、それぞれ店舗の実情に即した貼付を奨励している。（全面禁煙・時間帯分煙・空間分煙・全面喫煙可能等）顧客ニーズに適した分煙対策を推進することにより、利用者に選択してもらえる食の環境作りを現時点では目指している。	
建設業	内装工事業	4月に続き、売上は前年同期に比べ増加している。アベノミクスの関係か、景気が少しながら上向いてきているのかもしれない。	
	水道工事業（津）	毎年年度初めは業務量が少ないが、本年度も同様の傾向であった。なお、5月までこの傾向が続いている。	
運輸業	トラック	軽油の価格が高止まりで、収益を圧迫している。	

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
一般機器	四日市	大企業編重になる傾向の経済対策から中小企業に重点を置く施策を切望する。
	津（久居）	要望事項に対し行政へどのように情報提供されているのか連絡員に見えてこないのが残念である。
	伊勢	歴史的な円高は日本の製造業にとって大きな悪影響をもたらしたが、行き過ぎた円安は大企業にとっては収益改善に大きく寄与しているが、中小企業にとっては燃料・材料等の値上げなどマイナス面も大きい。
電気機器	鳥羽	新しい事も大事であるが、足元の見えていない政策ばかりでうんざりである。国・県の産業が確実に利益が上がり、自然に税収が上がるような対策を立てて欲しい。
小売業	スポーツ用品	東海財務局へのアンケートに回答したが、どのような形で我々に資金の円滑化を図ってくれているのかが全く見えない。本当に円滑化するようなことをしてくれているのかきちんと示してほしい。
建設業	水道工事業（津）	官公需適格組合が行政の業務の受注状況を調査してほしい。
運輸業	トラック	燃料高騰対策を望む。